

山県市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

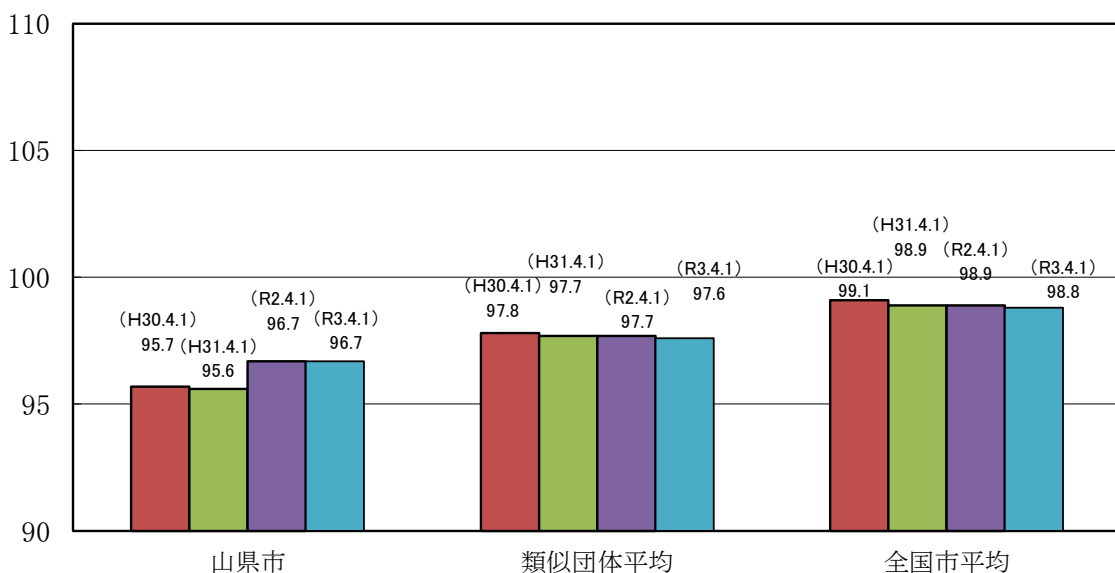
区分	住民基本台帳人口 (R3年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 令和元年度の人件費率
令和2年度	人 26,318	千円 17,828,057	千円 113,412	千円 2,345,546	% 13.2	% 15.1

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 A	給与費				一人当たり	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費 千円
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	給与費 B/A	
令和2年度	人 228	千円 874,129	千円 129,628	千円 342,118	千円 1,345,875	千円 5,903	千円 5,718

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、令和2年4月1日現在の人数である。再任用(短時間勤務)及び会計年度任用職員は含まない。
 3 給与費については、再任用職員(短時間勤務)の給与費を含んでいるが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 ()書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率)÷(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)
 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※ 令和3年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

経験年数階層区分「大卒15-20」、「高卒35年以上」における平均給料月額が昇格等により上がった。今後は、区分該当する職員の退職等により、緩やかに改善が見込まれる。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引き下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し (給料表の改定時期) 平成27年4月1日 (内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ平均2%引下げ。高齢層については、最大4%程度引下げ。 激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)
②地域手当の見直し (内容) 国と同様(山口市は支給地域ではないため、支給地域に勤務する職員にのみ支給)
③その他の見直し (内容) 管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(令和3年4月1日現在)

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
山口市	45.5 歳	324,383 円	378,257 円	345,124 円
岐阜県	42.6 歳	325,505 円	408,311 円	360,757 円
国	43.0 歳	325,827 円	407,153 円	— 円
類似団体	42.1 歳	314,079 円	373,970 円	341,571 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
山口市	53.2 歳	5人	238,720円	249,080円	238,720円	—	—	—	—
うち給食調理員	57.5 歳	4人	244,900円	251,275円	244,900円	飲食物調理従事者	46歳	271,100円	0.93
岐阜県	47.2 歳	121人	270,626円	312,010円	286,078円	—	—	—	—
国	50.9 歳	2,201人	286,947円	328,603円	—	—	—	—	—
類似団体	51.6 歳	15人	299,050円	326,611円	310,682円	—	—	—	—

区分	参考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
山口市	—	—	—
給食調理員	4,082,040円	3,620,500円	1.13

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成30年～令和2年の3カ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較に当たり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年度に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和3年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況(令和3年4月1日現在)

区 分		山 県 市	岐 阜 県	国
一般行政職	大 学 卒	182,200 円	192,300 円	182,200 円
	高 校 卒	150,600 円	157,700 円	150,600 円
技能労務職	高 校 卒	147,900 円	155,500 円	—
	中 学 卒	139,900 円	146,400 円	—

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(令和3年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	278,433 円	331,950 円	375,229 円	— 円
	高 校 卒	— 円	— 円	340,550 円	401,067 円
技能労務職	高 校 卒	— 円	220,900 円	241,800 円	— 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円	— 円

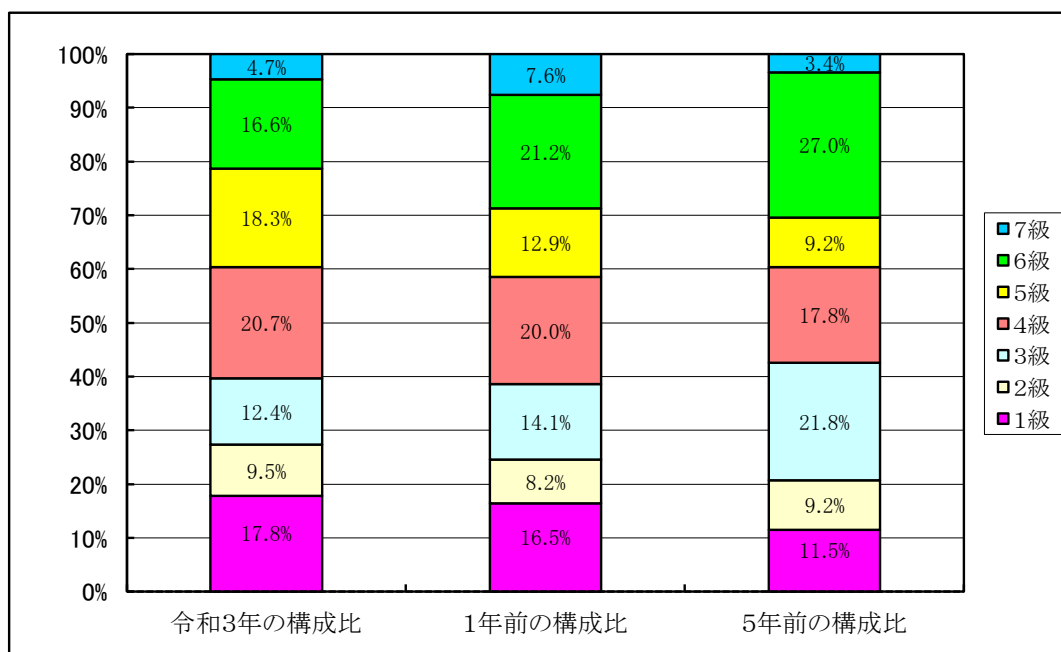
(注) 表中「—」となっている部分については該当職員がいないためである。

3 一般行政職の級別職員数等の状況

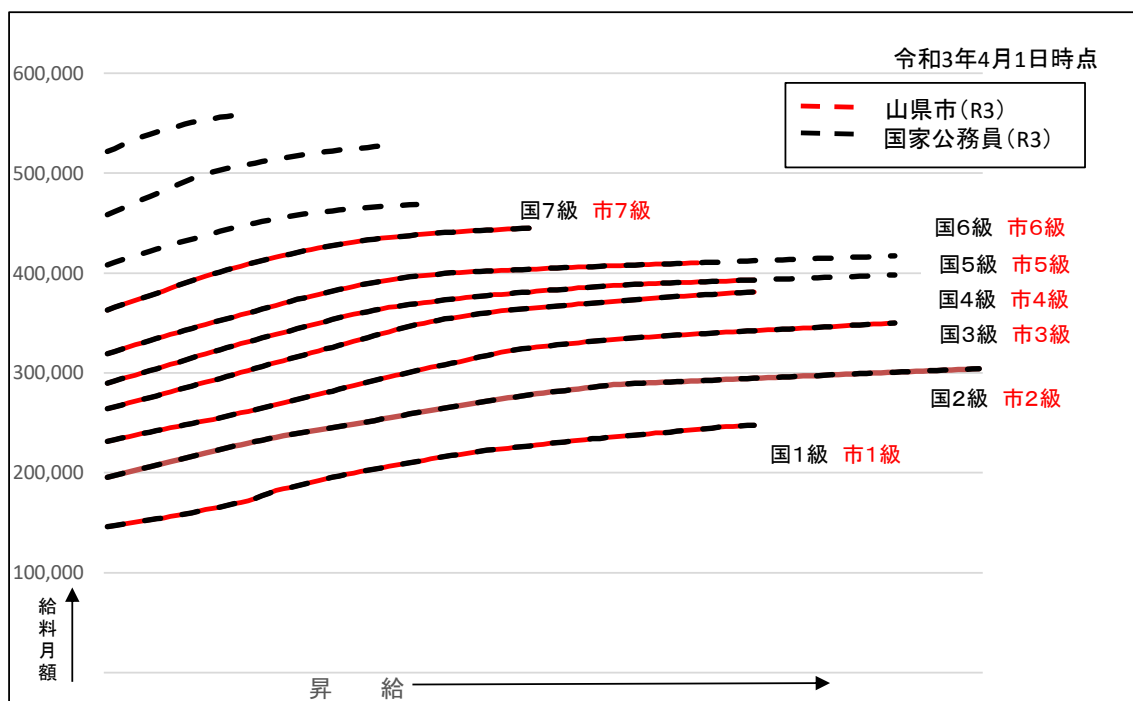
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(令和3年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
7 級	理事・課長	8 人	4.7 %	362,900 円	444,900 円
6 級	課長、管理監、主幹	28 人	16.5 %	319,200 円	417,200 円
5 級	課長補佐	31 人	18.2 %	289,700 円	398,000 円
4 級	係長	35 人	20.6 %	264,200 円	381,000 円
3 級	主査	21 人	12.4 %	231,500 円	350,000 円
2 級	主任	16 人	9.4 %	195,500 円	304,200 円
1 級	主事	30 人	17.6 %	146,100 円	247,600 円

(注) 1 山県市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表(行政職(一)) (令和3年4月1日現在)



(3) 昇給への人事評価の活用状況

令和3年4月2日から令和4年4月1日 までにおける運用	山縣市		国	
	管理職員	一般職員	管理職員	一般職員
人事評価を実施	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用	○	○	○	○

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

山 県 市	岐 阜 県	国
1人当たり平均支給額(令和2年度) 1,470 千円	1人当たり平均支給額(令和2年度) 1,685 千円	—
(令和2年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.90 月分 (0.90)月分	(令和2年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.90 月分 (0.90)月分	(令和2年度支給割合) 期末手当 2.55 月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.90 月分 (0.90)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 15%、25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況(一般行政職)

令和3年度中における運用	山縣市		国	
	管理職員	一般職員	管理職員	一般職員
人事評価を実施	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の成績率も適用	○	○	○	○

(2) 退職手当(令和3年4月1日現在)

山 県 市			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	47.709 月分	47.709 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)	
1人当たり平均支給額	5,415 千円	22,181 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和2年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当(令和3年4月1日現在)

支給実績(令和2年度決算)		1,082 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)		271 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
名古屋市	15%	1人	15%
岐阜市	6%	3人	6%

(4) 特殊勤務手当(令和3年4月1日現在)

支給実績(令和2年度決算)		— 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)		— 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(令和2年度)		— %		
手当の種類(手当数)		1種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (令和2年度決算)	左記職員に対する支給単価
出勤手当	火災・救急その他の災害に係る業務に出勤した消防吏員	火災・救急その他の災害に係る業務	— 千円	出勤1回につき500円
	救急救命士として上記業務に出勤した場合			出勤1回につき700円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(令和元年度決算)	48,093 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和元年度決算)	364 千円
支給実績(令和2年度決算)	65,479 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)	508 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(令和2年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当(令和3年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (令和2年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和2年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 ・配偶者 月額 6,500円 ・子 月額 10,000円 ・配偶者以外の扶養親族 月額 6,500円 ・16～22才までの子加算 月額 5,000円	同じ		21,920 千円	221,414 円
住居手当	借家・借間に居住する職員に支給 ・借家・借間に係る場合 月額16,000円を超える 家賃を支払っている職員に対し家賃額に応じて 支給限度月額28,000円	同じ		9,625 千円	260,142 円
通勤手当	通勤距離が片道2km以上である職員に支給 ・交通機関等利用者 運賃相当額に応じて 支給限度額月額55,000円 ・自動車等使用者 距離に応じ 月額2,000円～31,600円	同じ		13,671 千円	64,793 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員(6級以上)に定額 を支給 ・19,900円～88,500円	一 部 異なる	支給額	20,815 千円	378,458 円
夜間勤務手当	正規の勤務時間として深夜に勤務した職員に支給 ・勤務1時間当たりの給与額×25/100×勤務時間 数	同じ		— 千円	— 円
管理職員 特別勤務手当	管理又は監督の地位にある行政職6級以上の職員 が、臨時又は緊急の必要等により、週休日又は休 日等に勤務した場合 ・週休日等 8,000円(12,000円) ・週休日等以外 6,000円 ()内6時間超の場合	一 部 異なる	支給額	1,750 千円	291,667 円
単身赴任手当	異動等に伴い住居移転し、やむを得ず同居してい た配偶者と別居し、単身で生活することを常況とす る職員に月額30,000円を支給 (交通距離に応じて70,000円まで加算)	一 部 異なる	支給額	— 千円	— 円
宿日直手当	日直勤務した職員に支給 ・庁舎の保全、庁内の監視等 1回につき4,400円	同じ		1,074 千円	8,947 円

5 特別職の報酬等の状況(令和3年4月1日現在)

区 分	給 料	月 額	等
給 料	市 長	738,000 円 (820,800 円)	(参考)類似団体における最高/最低額 989,000 円 / 405,000 円
	副 市 長	642,000 円 (676,600 円)	816,000 円 / 512,000 円
報 酬	議 長	353,000 円	540,000 円 / 327,000 円
	副 議 長	315,000 円	486,000 円 / 279,000 円
	議 員	295,000 円	450,000 円 / 259,000 円
期 末 手 当	市 長	(令和2年度支給割合)	
	副 市 長	4.35 月分	
退 職 手 当	議 長	(令和2年度支給割合)	
	副 議 長	4.35 月分	
退 職 手 当	市 長	(算定方式)	(1期の手当額) (支給時期)
	副 市 長	給料月額×在職年数×500/100	14,760,000 円 任期毎
		給料月額×在職年数×300/100	7,704,000 円 任期毎

(注)1 給料の()内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

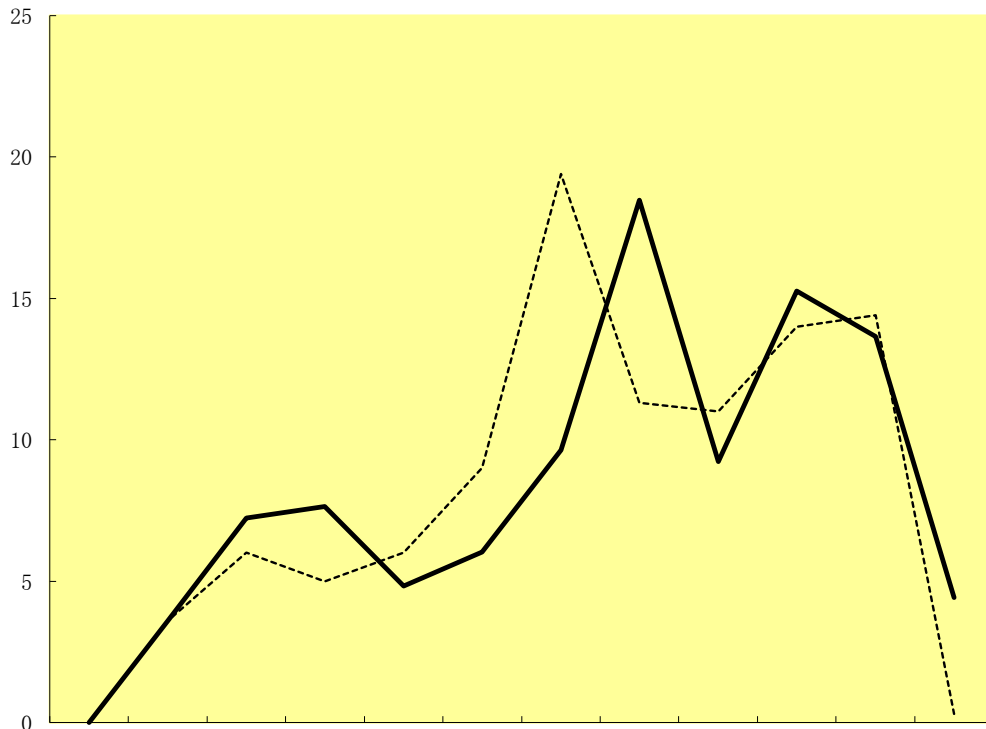
区 分 部 門		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		令和2年	令和3年		
普通会計部門	議会	4	4	0	
	総務	60	60	0	
	税務	16	14	▲ 2	人員配置見直し
	民生	69	65	▲ 4	保育士早期退職等
	衛生	15	15	0	
	農林水産	12	13	1	業務配置見直し
	商工	7	7	0	
	土木	16	15	▲ 1	人員配置見直し
	計	199	193	▲ 6	<参考> 人口1万人当たり職員数 73.3 人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 67.0 人)
	小計	228	222	▲ 6	<参考> 人口1万人当たり職員数 84.4 人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 85.8 人)
教育部門	29	29	0		
消防部門	0	0	0		
公営企業部等	水道	4	4	0	
	下水道	7	7	0	
	その他	10	10	0	
	小計	21	21	0	
合 計		249 [269]	243 [269]	▲ 6 [0]	<参考> 人口1万当たりの職員数 92.3 人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。

2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況(令和3年4月1日現在)

(例) %



区 分	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
職員数	1 人	12 人	14 人	24 人	11 人	13 人	20 人	44 人	30 人	28 人	33 人	13 人	243 人

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

年度 部門別	28年	29年	30年	31年	令2年	令3年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	195	196	195	197	199	193	△ 2 (△ 1.0 %)
教育	30	29	28	29	29	29	△ 1 (△ 3.3 %)
消防	52	52	47	0	0	0	△ 52 (△ 100.0 %)
普通会計計	277	277	270	226	228	222	△ 55 (△ 19.9 %)
公営企業等会計計	25	23	21	21	21	21	△ 4 (△ 16.0 %)
総合計	302	300	291	247	249	243	△ 59 (△ 19.5 %)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 平成31年度の総費用に占 める職員給与費比率
	千円	千円	千円	%	%
令和2 年度	438,016	8,001	21,384	4.9%	5.0

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)全市町村平均 一人当たり給与費 千円
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	
令和2 年度	3	12,101	1,433	3,392	16,926	5,642	6,045

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。 2 職員数は、令和3年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項 特になし

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(令和3年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
山 県 市	41.0 歳	336,150 円	463,839 円
団 体 平 均	45.3 歳	335,096 円	502,816 円

(注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。 2 団体平均とは、全市町村水道事業の平均値である。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

山 県 市		団 体 平 均	
1人当たり平均支給額(令和2年度)		1人当たり平均支給額(令和2年度)	
1,532 千円		1,480 千円	
(令和2年度支給割合)		(令和2年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.55 月分	1.90 月分	— 月分	— 月分
(1.45)月分	(0.90)月分	(—)月分	(—)月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 —	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当(令和3年4月1日現在)

山 県 市			団 体 平 均		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695 月分	24.586875 月分	勤続20年	- 月分	- 月分
勤続25年	28.0395 月分	33.27075 月分	勤続25年	- 月分	- 月分
勤続35年	39.7575 月分	47.709 月分	勤続35年	- 月分	- 月分
最高限度額	47.709 月分	47.709 月分	最高限度額	- 月分	- 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		その他の加算措置		
1人当たり平均支給額	- 千円	- 千円	1人当たり平均支給額	16,310 千円	

ウ 地域手当(令和3年4月1日現在)

支給実績(令和2年度決算)		-		千円
職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)		-		千円
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度 (支給率)	
-	-	-	-	

エ 時間外勤務手当

支給実績(令和元年度決算)	994 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和元年度決算)	331 千円
支給実績(令和2年度決算)	1,818 千円
職員1人当たり平均支給年額(令和2年度決算)	606 千円

(注)1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(令和2年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

オ その他の手当(令和3年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (令和2年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (令和2年度決算)
扶養手当	「4. 職員手当の状況 (5)その他手当」に同じ	同じ	-	78 千円	78,000 円
住居手当				78 千円	78,000 円
通勤手当				125 千円	41,600 円
管理職手当				- 千円	- 円

(注)住居手当、管理職手当については、支給対象職員は無し。